

**令和7年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧**

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
旭	1	相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業を契機とした鶴ヶ峰駅周辺のまちづくりの推進	着実な事業推進(工事における周辺の交通環境や通行人等の安全確保など)	道路局	△
				都市整備局	○
旭	2	旭区内の公園整備	1 帯子川緑道の整備に向けた下水道・公園整備に必要な設計費・整備費の予算措置及び地元要望の検討 2 維持管理の負担やランニングコストの縮減に向けた公園整備の検討 3 地域や民間事業者などの多様な主体が利活用できる公園活用の仕組み作り	みどり環境局	○
			1 帯子川緑道の整備に向けた下水道・公園整備に必要な設計費・整備費の予算措置及び地元要望の検討 2 維持管理の負担やランニングコストの縮減に向けた公園整備の検討 3 帯子川緑道の整備に向けた旧河川区域における用地整理等の課題解決に向けた取組の検討・実施及び必要な測量費等の予算措置	下水道河川局	○
旭	3	横浜環状鉄道の早期延伸	1 横浜環状鉄道について事業性をさらに高めるための検討 2 既存路線のグリーンラインの隣接する区間である中山～二俣川経由～東戸塚間の先行整備に向けた検討	都市整備局	○
旭	4	希望ヶ丘駅周辺におけるまちづくりの推進	地域まちづくりグループへのコーディネーター派遣などの活動支援に必要な予算確保及び検討支援	都市整備局	○
旭	5	GREEN × EXPO 2027開催に向けたさらなる機運醸成や関係する基盤整備の推進	1 会場周辺区はもとより郊外部も含めた市域全体のシティドレッシングや具体的なコンテンツ内容の周知等、開催への期待を高められる広報の検討・実施 2 横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会が行う機運醸成の取組への予算措置の充実	脱炭素・GREEN × EXPO推進局	△
			1 市道五貫目第33号線(通称名:八王子街道)の事業推進 2 上川井IC周辺の交通対策の事業推進	脱炭素・GREEN × EXPO推進局	○
			1 横浜動物の森公園の中央道路の早期開通に向けた調査・設計及び工事費の計上 2 中央道路と三保街道とが接続する交差点周辺の安全性確保等の検討	みどり環境局	○
旭	6	狭あい道路拡幅整備事業の推進	1 狹あい道路拡幅整備事業の予算確保や円滑な整備に向けた地元要望などの対応 2 路線型整備の事業継続に向けた地元調整及び事業費の確保などの実施	建築局	○
旭	7	視覚障がい者向けのハザードマップの作成	視覚障がい者向けのハザードマップ(特に地図面)の作成(耳で聞くハザードマップ導入に向けた初期開発及び運用にかかる事業費の確保)	総務局	○

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局、都市整備局
------	-----------

旭区		区政推進課、総務課	
担当者名	区政推進課：齋藤、大井 総務課：金床	TEL	954-6026（区政推進課） 6011（総務課）
共通区			

継続年数	6年
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
1	相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業を契機とした鶴ヶ峰駅周辺のまちづくりの推進

## ◇地域の課題、基礎データ等

- 西谷駅から二俣川駅までの区間を地下方式による連続立体交差化を推進することによって、10箇所の踏切を除却し、交通渋滞の解消や歩行者の安全確保等を図る目的で事業を進めています。令和4年6月21日付で神奈川県より都市計画事業として認可され、同年11月に工事に着手しました。令和15年度の事業完了に向けて、工事が進められています。
- 線路の地下化による既存線路跡地については、有効利用を図るための検討が必要です。
- 鶴ヶ峰駅は5.5万人/日の利用があり、多くの路線バスが発着する旭区の交通拠点となっていますが、バスターミナルが駅から約250m離れ、乗換が不便になっています。
- 鶴ヶ峰駅北口は一般車の乗降場がなく、歩行者と自動車が交錯しやすくなっています。
- 駅前に大規模な低未利用地が存在しています。（旧市営住宅跡地約8,000m<sup>2</sup>など）
- 地権者で組織されたまちづくり協議会において、まちづくりの検討が行われ、平成31年3月には「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」を策定しました。令和6年3月には地権者により市街地再開発準備組合が設立されました。
- 駅周辺には区庁舎や公会堂といった行政施設が立地しているが、老朽化や窓口の分散化等の問題を抱えているため、区民サービスに支障をきたします。令和5年度に実施した区民意識調査では、区役所へのアクセスが不便という意見が多く寄せられました。
- 都市計画道路 坂本鶴ヶ峰線が未整備であり、歩道が狭いといった不便を抱えています。
- 鴨居上飯田線が一部開通し、残りの区間の整備も進んでいるが、鴨居上飯田線と保土ヶ谷二俣川線の交差地点～厚木街道区間にては線路があるなどの課題があり、整備時期が未定です。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他（ ）

## ◇区民からの具体的な要望

- 平成28年3月に連合自治会町内会連絡協議会が連続立体交差事業の早期事業化や地下化による整備について、市長及び市会議長に要望書を提出しました。
- 平成28年12月に鶴ヶ峰駅北口再開発協議会が連続立体交差事業の地下方式の採用や、鶴ヶ峰駅北口の再開発との連携を行う旨の要望書を市長へ提出しました。
- 平成29年からのまちづくり構想の検討に際し、踏切の除却だけでなく水道道の渋滞解消や、バスターミナルやタクシー乗り場の再整備、駅前拠点ゾーンには駅前の利便性を生かし商業、公共施設等を整備する等、鶴ヶ峰の特色のあるまちづくりを希望する意見が出されました。

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- 地権者組織の鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり協議会等に参加しています。
- 中期4か年計画2018～2021では連続立体交差事業を契機に、区役所や公会堂の立地を生かした行政機能と文化施設の充実したまちなど鶴ヶ峰駅北口周辺の目標を示しました。
- 「横浜市都市マスタートップラン旭区プラン」では、鶴ヶ峰駅周辺を行政機能と文化施設の充実したまちづくりを行う等の目標を位置付けています。
- 鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想では、主要な生活拠点にふさわしい土地の高度利用と拠点機能をまちづくりの基本方針に、市営住宅跡地等を活用し、鉄道敷地の利活用の可能性も検討しながら、行政機能の更新・充実について位置付けました。
- まちづくりに合わせた旭区総合庁舎等の公共施設の再編整備に向けた検討を施設所管局と連携して進めています。

◇提案内容・概算額等

【連続立体交差事業】

着実な事業推進（工事における周辺の交通環境や通行人等の安全確保など）

【都市計画道路】

保土ヶ谷二俣川線着手時期未定路線（横浜厚木線までの間）及び坂本鶴ヶ峰線の早期事業化に向けた検討

【駅周辺のまちづくり】

区役所等の公共・公益施設の更新・充実といった鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想の実現に向けたまちづくりの検討及び予算措置

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	道路局建設課、道路局企画課、都市整備局市街地整備推進課
------	-----------------------------

◆局回答内容

道路局		建設課、企画課	
担当者名	根本(建設課) 森、泉(企画課)	TEL	671-2792(建設課) 671-2777(企画課)

対応の有無	一部対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業については、令和4年6月に事業認可を取得し、11月には着工式を開催し工事に着手しました。令和7年度においても全工区で、土留め工、掘削工などを安全第一で進めます。（建設課）</p> <p>都市計画道路保土ヶ谷二俣川線（未事業化区間）については、事業化に向けた検討を進めます。</p> <p>そのほか未着手の都市計画道路については、整備財源となる国費が十分に確保できない状態が続いているなど課題があるため、事業化の目途は立っておりません。なお、事業化に当たっては周辺の街づくりや事業中路線の進捗に合わせて検討する必要があります。（企画課）</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

都市整備局		市街地整備推進課	
担当者名	野村、森山	TEL	671-3799

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>連続立体交差事業を契機とした鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想の実現に向けたまちづくりの検討の実施</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

		旭区	区政推進課・土木事務所
所管局名	みどり環境局、下水道河川局	担当者名 区政推進課 斎藤、大井 土木事務所：村 田	TEL 954-6026（区政推進 課） 953-8801（旭土木事 務所）
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算・制度関連	
番号	項目
2	旭区内の公園整備

## ◇地域の課題、基礎データ等

## 【帷子川緑道】

- ・関係各署への働きかけにより、神奈川県が廃川処理を行い、平成22年度に市の水路（一般下水道）となりました。
- ・この水路敷き[帷子川旧河川敷（日影橋～前山橋）]には、本川からの流入はないものの、流域からの雨水等の滞留による臭気や雑草の繁茂などの問題が発生しています。
- ・また、旧河川敷の跡地活用については、地域より平成18年度に実施されたワークショップの結果を踏まえ、プロムナードの早期整備が強く求められていましたが、平成31年3月に今宿橋から新今宿橋間、令和2年3月には今宿橋から日影橋間、令和6年5月には旧前山橋から清来橋間が完成し、供用を開始しています。
- ・公園名も「帷子川緑道」と決定しています。
- ・清来橋以西の未整備区間においては用地整理が必要な部分があり、早期整備に向けて調整を進めていく必要があります。
- ・全ての区間にについて維持管理に配慮した整備等の検討が求められています。

## 【中尾町かがやき公園】

- ・旧神奈川県職員寮のある県有地を市が取得した当該地は、二俣川駅から徒歩圏内に位置し、神奈川県警察運転免許センターなど、広域的な集客がある施設に隣接しています。
- ・周辺には小規模な公園はありますが、一定程度の規模がある公園は整備されておりません。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他 ( )

## ◇区民からの具体的な要望

## 【帷子川緑道】

- ・平成17年に地元町内会自治会連合会長から旭区長宛に、旧河川に架かる前山橋、今宿橋の拡幅に関する要望書が提出され、同時に旧河川敷の活用に関する地域要望が強くなりました。
- ・地元町内会自治会連合会では平成19年度～令和元年度のタウンミーティングにて帷子川緑道の全区間の早期整備、住宅に対するプライバシー対策、公園トイレの設置、今後の整備区間における、維持管理のしやすさに配慮した植栽整備などが要望されています。

## 【中尾町かがやき公園】

- ・周辺には子供が遊べる広場や地域のイベントを行えるスペースがないので、大きな広場のある公園にしてほしいとの要望があります。
- ・公園の日常管理に関する住民負担の軽減について、検討を求めるご意見がありました。

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

## 【帷子川緑道】

- ・「横浜市都市計画マスタークリエイティブプラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 3 環境の方針）」に位置づけています。
- ・地域住民とワークショップを開催し、水路の利活用イメージを策定しました（平成18年度）。
- ・プロムナード整備の方向性を整理した方針を確定しました（平成24年度、令和4年度）。
- ・早期整備に向けて、課題共有や進捗管理のために関係局と連携しています。
- ・各区間における設計調整や工事監理しています。

## 【中尾町かがやき公園】

- ・「横浜市都市計画マスタークリエイティブプラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 3 環境の方針）」に位置づけています。
- ・地域の要望についてヒアリングを実施しました。
- ・新規の公園整備という機会を捉え、公園活用の手法について議論、検討を進めてきました。

◇提案内容・概算額等

【帷子川緑道】

【みどり環境局公園緑地事業課・下水道河川局管路整備課】

- ・帷子川緑道の整備に向けた下水道・公園整備に必要な設計費・整備費の予算措置及び地元要望の検討
- ・維持管理の負担やランニングコストの縮減に向けた公園整備の検討

【下水道河川局河川管理課】

- ・帷子川緑道の整備に向けた旧河川区域における用地整理等の課題解決に向けた取組の検討・実施及び必要な測量費等の予算措置

【中尾町かがやき公園】

【みどり環境局戦略企画課】

- ・地域や民間事業者などの多様な主体が利活用できる公園活用の仕組み作り

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課

みどり環境局戦略企画課、みどり環境局公園緑地事業課、下水道河川局管路整備課、下水道河川局河川管理課

◆局回答内容

みどり環境局		公園緑地事業課 戦略企画課	
担当者名	中橋(公園緑地事業課) 池上(戦略企画課)	TEL	671-2652(公園緑地事業課) 671-3847(戦略企画課)

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>【帷子川緑道】（公園緑地事業課）            ・清来橋から大橋間の緑道について、ランニングコストに十分配慮しながら整備を行います。            (R6年度予算での執行により対応)</p> <p>【中尾町かがやき公園】（戦略企画課）            ・区と連携して、多様な主体が利活用できる公園活用の仕組み作りを検討します。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

下水道河川局		管路整備課 河川管理課	
担当者名	朝日(管路整備課) 石黒(河川管理課)	TEL	671-2843(管路整備課) 671-2856(河川管理課)

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>(管路整備課) 大橋以西の下水道整備に向けて、設計を行います。            (河川管理課) 緑道整備を進めるにあたり、用地整理等について引き続き関係地権者との調整等を行います。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

旭区	区政推進課
担当者名	斎藤、大井
TEL	954-6026

共通区

継続年数

7年以上

## 提案種別

## 予算関連

番号	項目
3	横浜環状鉄道の早期延伸

## ◇地域の課題、基礎データ等

- 平成26年2月「横浜市における鉄道を軸とした交通体系について」において、全線整備により市域の一体化や交通利便性の向上が期待されますが、多額の費用を要することから長期的に取り組む路線としています。
- グリーンラインやみなとみらい線に隣接する区間から事業性を高めるための検討を進めています。
- 平成28年4月に「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」について、交通政策審議会から国土交通大臣へ答申がなされ、横浜環状鉄道が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトの中の「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の内の1つとして位置付けられました。
- 最寄駅まで15分で到達できない交通不便地域が、旭区は市内でも特に広く分布しています。この中には、若葉台・左近山・ひかりが丘等の大規模団地のほか、多くの住宅地が含まれています。
- 横浜都市交通計画の改定時の意見募集では、交通課題に対しての早期対応に関する要望書を横浜市長へ提出しました。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他 ( )

## ◇区民からの具体的な要望

- 市長宛要望書、タウンミーティング等の機会に、以下の要望を受けています。
  - ①交通不便地域の解消が若干層の地域離れ、高齢者の外出機会減少に歯止めを掛け、地域発展・郊外部の魅力向上につながる。
  - ②市内の主要な施設へのアクセス性向上のほか、郊外部の地域間交流が活発になり市域が一体となる。
  - ③ズーラシア等、旭区内の施設へのアクセス性向上により、更なる集客と周辺道路の渋滞が解消される。
- 平成30年7月2日に旭区区連会から市長へ要望書が提出されました（11月30日回答）。
- 毎年、タウンミーティング（若葉台、左近山等）で早期整備について要望を受けています。

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- 「横浜市都市マスタープラン旭区プラン（Ⅲまちづくりの方針 2交通の方針）」に位置付けています。
- 横浜市中期4か年計画2018～2021、横浜都市交通計画に事業化の推進に向けた検討を行うことを位置付けています。

## ◇提案内容・概算額等

- 横浜環状鉄道について事業性をさらに高めるための検討
- 既存路線のグリーンラインの隣接する区間である中山～二俣川経由～東戸塚間の先行整備に向けた検討

## ◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

## ◇所管局

所管局課 都市整備局都市交通課

## ◆局回答内容

都市整備局	都市交通課
担当者名	西山、原

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>国の交通政策審議会答申に位置付けられたプロジェクト等について、事業化の判断をした高速鉄道3号線の延伸を着実に進めながら、引き続き検討調査を実施するための予算（鉄道計画検討調査の一部）の中で検討します。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局
------	-------

旭区	区政推進課
担当者名	斎藤、大井
共通区	TEL 954-6026

継続年数	3年
------	----

提案種別
予算関連

番号	項目
4	希望ヶ丘駅周辺におけるまちづくりの推進

## ◇地域の課題、基礎データ等

- 希望ヶ丘駅は「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」に生活拠点駅と位置づけられているものの、これまでまちづくりに関する動きが具体的に無く駅前ロータリーが狭小であることや駅周辺の歩道がない道路など交通関係を中心に様々な問題が解決されていません。
- 令和元年度から基礎調査や地域の関係者への聞き取り調査により、まちの魅力・課題について把握などの取組を行っています。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他 ( )

## ◇区民からの具体的な要望

次の項目についてタウンミーティング等で要望を受けています。

- ①地域住民が交流できるスペースの創出
- ②線路による南北の分断や西側改札の設置、狭小なロータリー、歩行者空間の確保、都市計画道路の整備促進などの交通課題の改善

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

- 基礎調査や地域の関係者への聞き取り調査の実施しました。
- 地域のまちづくりの機運醸成に向けたワークショップ等の開催しました。
- 地域まちづくりグループによる検討会に参加しています。
- 鉄道事業者等に対して、まちづくりの働きかけを継続して実施しています。

## ◇提案内容・概算額等

地域まちづくりグループへのコーディネーター派遣などの活動支援に必要な予算確保及び検討支援

## ◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

## ◇所管局

所管局課	都市整備局地域まちづくり課
------	---------------

## ◆局回答内容

都市整備局	地域まちづくり課
担当者名	奥村、大嶽、岩谷

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>市民等が自ら行う地域まちづくりに対し、まちづくりコーディネーター派遣など引き続き支援を行います。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	脱炭素・GREEN×EXPO推進局、みどり環境局	旭区	区政推進課・土木事務所
担当者名	区政推進課：岩間、齋藤、大井 旭土木事務所：菊地	TEL	954-6026（区政推進課） 953-8801（旭土木事務所）
共通区	全区（一部賛同区含む）		
継続年数	3年		

提案種別	項目
予算関連	
番号	項 目
5	GREEN×EXPO 2027開催に向けたさらなる機運醸成や関係する基盤整備の推進

## ◇地域の課題、基礎データ等

## 【基盤整備】

- GREEN×EXPO 2027の会場と近接する横浜動物の森公園周辺は最寄駅まで15分で到達できない交通不便地域です。
- 上川井IC周辺の道路では日常的に渋滞が発生しています。
- 大規模イベント（全国都市緑化よこはまフェアや里山ガーデンフェスタ）や大型連休時には大規模な渋滞が発生しています。

## 【機運醸成】

- GREEN×EXPO 2027開催に向け、旭区では横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会が設立され、機運醸成の取組を推進しています。
- GREEN×EXPO 2027の認知度は市内で45.7%と低い状況にあります。
- 今後区民の方をはじめ多くの方々に認知していただくとともに、開催に向けた期待を高めていく必要があり、機運醸成に向けた取組や広報をさらに充実させる必要があります。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他（ ）

## ◇区民からの具体的な要望

## 【基盤整備】

- ズーラシア開園（平成11年）以前から、繰り返し、公園内の中央道路の早期整備について要望を受けています。
- GREEN×EXPO 2027の開催等による交通渋滞の悪化が懸念され、総合的な交通対策について具体的な説明を求められています。

## 【機運醸成】

- GREEN×EXPO 2027開催に向けて、街中で多くの人の目に付くようなPRを積極的に取り組むべきとの要望がされています。
- GREEN×EXPO 2027の事業内容や開催後の展望についての情報が不十分なため、より具体的な内容を周知してほしいという声が上がっています。

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

## 【基盤整備】

- 平成29年度から中央道路の整備に関して区提案反映制度で提案を継続しています。
- 「横浜市都市計画マスターplan旭区プラン」では、ズーラシア周辺の交通環境の改善を行っていくことを位置付けています。

## 【機運醸成】

- 令和3年7月1日に横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会が設立され、機運醸成の取組を実施しています。
- 令和6年度運営方針において、目標達成に向けた施策の柱「魅力づくり」の主な取組として「GREEN×EXPO 2027の機運醸成に向けた取組を推進」を位置づけています。

## ◇提案内容・概算額等

### 【基盤整備】

#### 【脱炭素・G R E E N × E X P O 推進局上瀬谷整備推進課】

1 旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画 計画地周辺の交通基盤整備

(1) 市道五貫目第33号線(通称名：八王子街道) の事業推進

(2) 上川井IC 周辺の交通対策の事業推進

### 【みどり環境局公園緑地事業課】

2 横浜動物の森公園の中央道路の早期開通

(1) 横浜動物の森公園の中央道路の早期開通に向けた調査・設計及び工事費の計上

(2) 中央道路と三保街道とが接続する交差点周辺の安全性確保等の検討

### 【機運醸成】

#### 【脱炭素・G R E E N × E X P O 推進局G R E E N × E X P O 推進課】

機運醸成に向けた広報の拡充と継続

(1) GREEN×EXPO 2027開催に向けて、全区でのシティドレッシング（例：さらなる横断幕掲出や主要駅における階段ラッピング、花緑の創出等）や具体的な事業内容に加え、開催を契機に社会がどう変化し、未来に何が残せるのかといったレガシーの継承・発展等、市民が開催に対して期待を高めていけるような広報戦略の検討・実施

(2) 横浜国際園芸博覧会旭区推進協議会が行う機運醸成の取組への予算措置の充実

## ◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

## ◇所管局

所管局課

脱炭素・G R E E N × E X P O 推進局上瀬谷整備推進課、脱炭素・G R E E N × E X P O 推進局G R E E N × E X P O 推進課、みどり環境局公園緑地事業課

## ◆局回答内容

脱炭素・GREEN×EXPO推進局		上瀬谷整備推進課 GREEN×EXPO推進課	
担当者名	岩崎（上推） 長門、西野（G ×E）	TEL	900-0702（上推） 671-4627（G×E）

対応の有無	一部対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>【基盤整備（上瀬谷整備推進課）】            日常的な渋滞の解消や、GREEN×EXPO 2027開催時の円滑な通行を確保するため、市道五貫目第33号線（通称名：八王子街道）の道路拡幅事業は、上川井ICの改良を含め、引き続き工事や用地取得等を進めています。</p> <p>【機運醸成（GREEN×EXPO推進課）】</p> <p>(1) 令和6年度は、秋のイベントシーズンに合わせ、全区の駅等で階段広告を実施するなど、市全域でのプロモーション強化に取り組んでいます。7年度も、事業進捗に合わせ、市民の皆様の期待感につながる情報発信ができるよう、引き続き、広報プロモーションに係る予算を計上します。また、あらゆる世代の皆様に期待感や高揚感を醸成し、開催への機運をさらに高められるよう区役所課長級以下の会議体と緊密に連携するほか、関係局とも情報を共有しながら、市役所の様々な施策との連動など全庁一丸となって取組を加速させます。</p> <p>(2) 令和7年度も、区の特性や地域に合った広報プロモーションを柔軟に実施できるよう、GREEN×EXPOの機運醸成に係る再配当予算を計上します。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

みどり環境局		公園緑地事業課	
担当者名	望月	TEL	671-4125

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>中央道路整備事業を促進してまいります。</p> <p>1 令和6年度は、樹木伐採等の基盤整備を進め、前年に引き続き実施している軟弱地盤対策工事を完了させます。</p> <p>2 令和7年度は、引き続き樹木伐採や造成等の基盤整備を行います。また、擁壁やトンネル等の調査設計等を進めます。</p> <p>3 三保街道交差部の交差点などについては、引き続き道路、交通管理者との協議を行い設計を進めます。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	建築局建築防災課
------	----------

旭区	区政推進課、土木事務所		
担当者名	区政推進課：齋藤、大井 旭土木事務所：菊地	TEL	954-6026（区政推進課） 953-8801（旭土木事務所）
共通区			

継続年数	7年以上
------	------

提案種別	
予算関連	
番号	項目
6	狭あい道路拡幅整備事業の推進
◇地域の課題、基礎データ等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>旭区は、狭あい道路が多く、「狭あい道路整備促進路線」が約62km指定され、市内18区中1位となっています。</li> <li>タウンミーティングや地域住民からは、道路が狭くて危ない、緊急車両がすれ違えない等の要望が多数寄せられています。</li> <li>しかし、狭あい道路拡幅整備事業は、地権者の申請により拡幅が行われるため、建替え時でないと整備事業が実施されない現状があり、とりわけ区内でも「狭あい道路整備促進路線」の集中している「今宿地区」などの地域からは、路線型による計画的な整備を望む声が高く、令和元年度から地元調整を開始し、令和5年度に1期区間の工事が完了しました。現在は2期区間の工事に向けた調整を行っています。</li> </ul>	
◇地域ニーズ等の収集手段	
<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input checked="" type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（ ） )	
◇区民からの具体的な要望	
<ul style="list-style-type: none"> <li>区連会や今宿地区のタウンミーティングの議題としても長年にわたり取り上げられており、通学路が狭い、緊急車両が通れない、災害時の避難路が危険である等の理由から積極的な拡幅整備の推進を要望されています。</li> </ul>	
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」では、交通環境改善として狭あい道路の拡幅整備の目標を位置付けています。</li> <li>市民生活の安全の確保のため、関係課に対し随時、予算措置などの働きかけを行っています。</li> </ul>	
◇提案内容・概算額等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>狭あい道路拡幅整備事業の予算確保や円滑な整備に向けた地元要望などの対応</li> <li>路線型整備の事業継続に向けた地元調整及び事業費の確保などの実施</li> </ul>	
◇参考：区執行体制上の課題	
現行の体制で対応	
◇所管局	
所管局課	建築局建築防災課

## ◆局回答内容

建築局	建築防災課
担当者名	竹ノ下
TEL	671-4544

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>令和2年度から取り組んでいる旭区今宿地区における路線型整備について、令和5年度に竣工した1期区間の工事に引き続き、2期区間の工事実施に向けた調整に取り組んでいきます。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>

## 令和7年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	総務局
------	-----

旭区	総務課		
担当者名	酒井	TEL	954-6007
共通区	全区		

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算関連	
番号	項目
7	視覚障がい者向けのハザードマップの作成

## ◇地域の課題、基礎データ等

- 1 これまで旭区では、風水害に対し、ハザードマップによる”場所としてのリスク情報”や各種情報伝達手段による”(大雨などの) タイミングとしてのリスク情報”について、区民への周知を進めてきました。
- 2 周知を進めていく中で、地域から「視覚障がい者向けのハザードマップがないため、住んでいる場所や出かけた先の”場所としてのリスク情報”を取得する術がない」というご意見をいただく機会があります。
- 3 現在、横浜市では、カタログポケットの読み上げ機能を活用したハザードマップの情報面の周知は行っているものの、”場所としてのリスク情報”を示している地図面について、視覚障がい者向けに周知できるものはありません。
- 4 令和4年5月に施行された障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法においても、「障害者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようにする」という基本理念が示されており、誰一人取り残さない防災情報の周知を図っていく必要があります。

## ◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等     2 市民からの提案等     3 地区担当制     4 地域懇談会等  
 5 区民アンケート     6 区民要望     7 関係団体からの要望  
 8 その他 ( )

## ◇区民からの具体的な要望

視覚障がい者向けのハザードマップがないため、住んでいる場所や出かけた先の”場所としてのリスク情報”を取得する術がない。何か方策を検討してほしい。

## ◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

旭区区政運営方針：I 基本目標「子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現」

II 目標達成に向けた施策の3つの柱「安全・安心」のうち、

「防災・防犯・交通安全対策の推進による安全・安心なまちづくり」

- ・地域防災拠点訓練や連合自治会町内会防災訓練、各種防災研修において、ハザードマップの配布等により地域住民の防災意識向上に努めてきました。

## ◇提案内容・概算額等

「耳で聞くハザードマップ導入に向けた初期開発及び運用にかかる事業費の確保」

- 1 スマートフォンの位置情報に基づき、その場所の”場所としてのリスク情報”を読み上げが可能なアプリ（耳で聞くハザードアプリ）の導入することで、視覚障がい者の方にも、障害者でない者と同一内容の情報を同一時点において取得できるようになります。
- 2 当該アプリでは、ハザードマップのオープンデータを活用していることから、初期開発コストが小さいものの、横浜市が周知している内容等に合わせたカスタマイズを行う必要があるため、旭区をモデルとした開発を行い、その後、全区でも活用可能なアプリとする。なお、当該アプリの開発企業は、NPO法人日本視覚障がい情報普及支援協会（JAVIS）の企画・監修のもと、音声コードを核とした製品を開発・販売している会社であり、当該アプリは、当事者である視覚障がい者の方の意見を取り入れながら開発されており、アプリの普及が広く促進されることが期待されます。

【概算額】初期開発：■ 千円 運用：■ 千円/年度

## ◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

## ◇所管局

所管局課	総務局地域防災課
------	----------

## ◆局回答内容

総務局	地域防災課	
担当者名	海野	TEL 671-3456

対応の有無	対応する
対応する場合	<p>◇対応の内容</p> <p>音声読み上げ機能、多言語自動翻訳（8か国語）などの機能を有する「カタログポケット」を令和5年度に導入し、高齢者や障害者、外国人などを含めた多様な市民のニーズに合ったサービスを提供してきました。</p> <p>「カタログポケット」は、地図面の浸水深等のリスク情報を読み上げることができないという課題がありましたが、地図面のリスク情報を読み上げができるアプリがリリースされたので、導入を検討します。</p>
対応しない場合	<p>◇課題に対する局の考え方</p> <p>◇対応する場合の課題</p>